

UHF ANTENNA

UHF ch.13 ~ 52

U2SWLC3

75Ω用(F型端子)

水平偏波用

本機は水平偏波用のアンテナです。
垂直偏波の地域では使用できません。
お住まいの地域の地上デジタル放送の偏波が分からないときは、販売店にご確認ください。

強電界地域用

- 電波の弱い場所では受信できません。
- 障害物があり、見通しの悪い場所では受信できないことがあります。

●本機には、接続ケーブルを付属していません。
設置場所に応じて、必要な長さの75Ωケーブルをお買求めください。

SKY WALLIE mini



目次

ページ

付属品	1
安全上のご注意	2
使用上のご注意	2
各部の名称	3
アンテナを屋内に設置する	3
アンテナを壁面やベランダ・水平のマストに設置する前に	4
アンテナを壁面に設置する	4
アンテナをベランダ・垂直のマストに設置する	6
アンテナを水平のマストに設置する	8
ケーブルにF型コネクタを取り付ける	9
アンテナにケーブルを接続する	9
アンテナの方向を調整する	10
テレビがきれいに見られないときは	11
規格表・性能・保証書	12

付属品

壁面取付金具	1個
マスト固定Uボルト	1個
マスト固定金具	1個
F型コネクタ(5Cケーブル用)	1個
蝶ナット	2個
防水キャップ	1個
レンチ(11、17mm、蝶ナット用)	1個
スタンド	1個

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。

この「取扱説明書」は、いつでも見ることができるところに保管してください。



安全上のご注意

必ずお読みください




ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。





絵表示の例

	△記号は、注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。		⊙記号は、禁止の行為を示しています。		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。
--	-----------------------------------	---	--------------------	---	---------------------------------

警告

	<ul style="list-style-type: none">●アンテナを包装しているポリ袋は、お子様の手の届くところに置かないでください。頭からかぶると窒息し、死亡の原因となります。●アンテナを煙突の近くなど高温になる場所に設置しないでください。火災の原因となります。		<ul style="list-style-type: none">●雷が鳴出したら、アンテナ・ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。
--	---	---	---

注意

	<ul style="list-style-type: none">●雨降りや強風など、天候の悪い日の屋外での取付作業は非常に危険ですから、絶対にしないでください。また、夏の炎天下では、屋根が非常に熱くなっていますから注意してください。●腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具をそのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害や危害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的に点検してください。		<ul style="list-style-type: none">●アンテナ・取付金具・マストなどに異常があったり、ビスやボルトなどがゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。また、台風や大雪などの後は、安全を確保してから、アンテナ・取付金具・マストなどを必ず点検してください。アンテナが破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損・落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。●感電防止のため、アンテナは電線(電灯線・高圧線・電話線など)からできるだけ離れた場所に設置してください。●テレビやチューナーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行なってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。
	<ul style="list-style-type: none">●高所に取付ける場合、アンテナやアンテナ部品の落下などによって、人や物などに危害や損害を与えないように、安全な場所を選んで設置してください。●アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具・工具などをひもで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。●アンテナの取付作業は、安全確保のため、必ず2人以上で行なってください。●高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また、屋根に登ると、思ったより高く感じられ、足場も不安定です。滑らないように、充分気をつけて作業してください。		<ul style="list-style-type: none">●アンテナを高所に設置する場合、技術と経験が必要ですから、必ず販売店にご相談ください。●壁面に取付ける場合、壁面の強度がわかる工務店に、必ずご相談ください。●アンテナは、ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下して、けがの原因となることがあります。

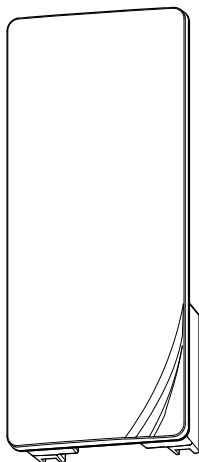
使用上のご注意

- アンテナに塗料やワックス、はっ水剤などを塗らないでください。アンテナの故障やアンテナの表面をいためる原因となります。
- アンテナの前面に市販の反射テープなど金属製のラベルを貼付けないでください。アンテナの性能が低下します。
- アンテナの汚れは、水またはうすめた中性洗剤を含ませたやわらかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは、アンテナの表面をいためますから、使用しないでください。

各部の名称

前面

上

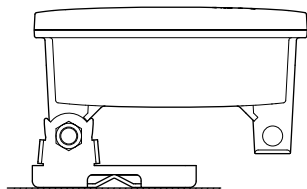


下

ご注意

- 前面で地上デジタル放送を受信します。
- この面を送信塔の方向に向けられる場所に設置してください。

↑送信塔の方向



アンテナを上から見た図

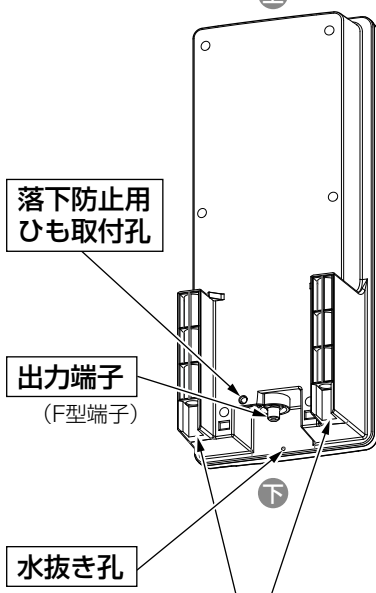
- 前面に市販の反射テープなど金属製のラベルを貼付しないでください。アンテナの性能が低下します。

ご注意

- 必ず、水抜き孔が下側になるように設置してください。
- 水抜き孔をテープなどでふさがらないでください。内部に水がたまり、故障の原因となります。

背面

上



落下防止用
ひも取付孔

出力端子
(F型端子)

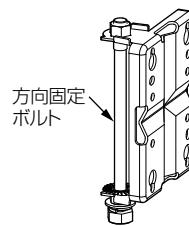
水抜き孔

壁面取付金具固定部

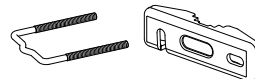
下

付属品

壁面取付金具(1個)



マスト固定 Uボルト(1個) マスト固定 金具(1個)



F型コネクター (5Cケーブル用) (1個)



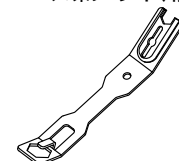
蝶ナット (2個)



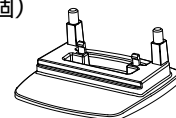
防水キャップ (1個)



レンチ (11、17mm、蝶ナット用) (1個)



スタンド (1個)



アンテナを屋内に設置する

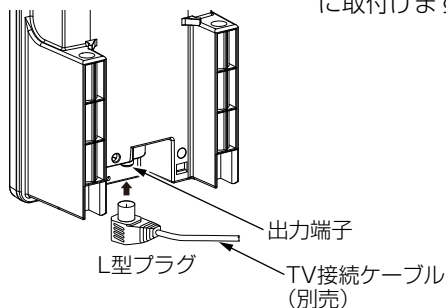
設置の前にご確認ください

- アンテナには必ず付属のスタンドを取付けてください。
- 屋内設置には別売のL型プラグ付のTV接続ケーブルをご使用ください。
- 電波が到来する窓際の卓上に設置すると、床に直接設置するより良好に受信できます。

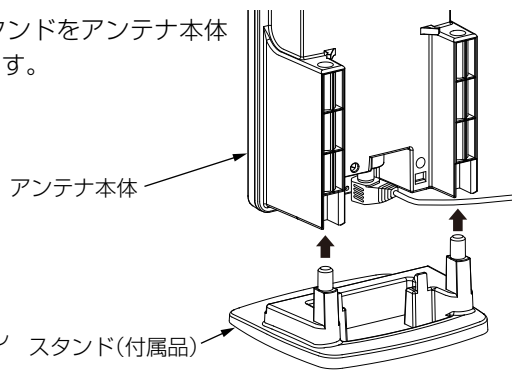
ご注意

- 金属製の台の上や周囲に金属製の物がある場所に設置しないでください。金属の影響で性能が低下することがあります。
- 本機は、ゴム足を使用しているため、色移りすることがあります。大切な家具などの上に設置しないでください。
- アンテナの近くで人が動くと、テレビ画面の映像にモザイク状のノイズが出る可能性があります。

①出力端子に、TV接続ケーブル (別売)のL型プラグ側を接続します。



②付属のスタンドをアンテナ本体に取付けます。



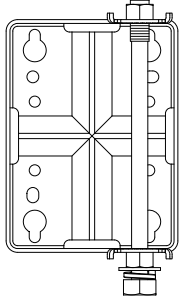
アンテナを壁面やベランダ・水平のマストに設置する前に

アンテナ本体背面の左右にある壁面取付金具固定部のどちらかに壁面取付金具を取り付けることにより、アンテナを左方向もしくは右方向に回転することができます。

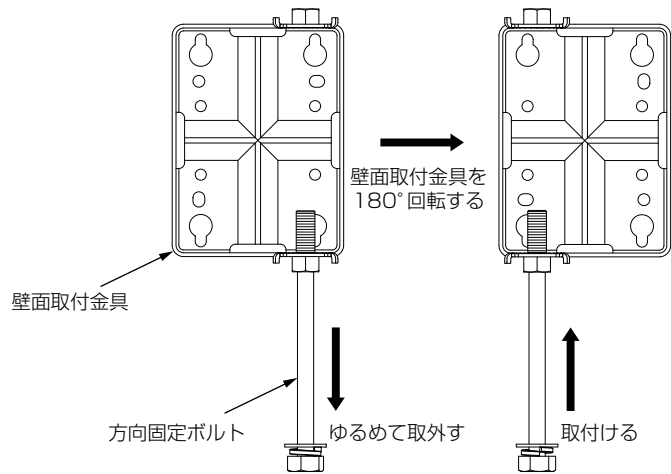
出荷時は、アンテナ本体背面左側の壁面取付金具固定部に取付けられるよう方向固定ボルトが取付けられています。(アンテナは左方向に回転できます)

送信塔が右方向の場合は、下図を参照し、方向固定ボルトを付け直してください。

アンテナ本体背面左側の壁面取付金具固定部に取付けられる状態(出荷時)



アンテナ本体背面右側の壁面取付金具固定部に取付けられる状態(右方向に回転)に方向固定ボルトを取付ける。



アンテナを壁面に設置する

壁面に壁面取付金具を設置した後、アンテナ本体を壁面取付金具に組付けます。

⚠注意

- 壁面に取付ける場合、壁面の強度がわかる工務店に、必ずご相談ください。
- アンテナを取付けた状態で、強風時には大きな荷重がかかります。安全性と強度を充分確保できる壁面にしっかりと取付けてください。アンテナが落下して、けがの原因となることがあります。
- アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具・工具などをひもで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。
- アンテナの取付作業は、安全確保のため、必ず2人以上で行なってください。
- ボルト・木ねじの締付部分は、初期ゆるみがありますから、数か月後、再度、締直してください。

ご注意

- アンテナを上下逆に取付けると、内部に雨水がたまり、故障の原因となります。アンテナの上下を確認して、正しく取付けてください。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。方向固定ボルトの変形や破損の原因となります。

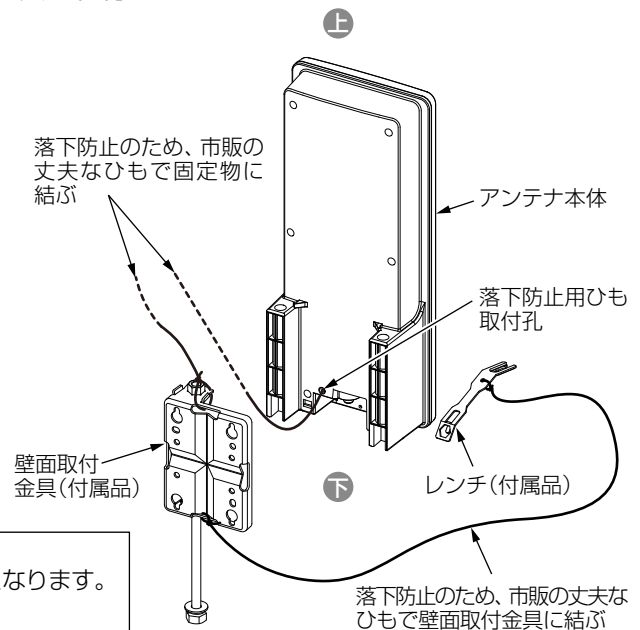
壁面設置に必要なもの

- 取付けには、⊕ドライバーと、付属のレンチが必要です。
- 取付ける壁面に合わせて、木ねじやコンクリートアンカーを別途ご用意ください。

1. 設置する場所での受信確認 **重要**

- 壁面に取付ける場合、一度取付けると壁面に孔が開きます。事前に設置したい場所で、地上デジタル放送の全チャンネルが受信できることをテレビまたはレベルチェッカーなどで確認してから、取付けてください。
- 地上デジタル放送は、直進性が強く、障害物によるレベル減衰が大きくなり受信できなくなるため、送信塔方向の見通しが良い、高い場所を選んでください。
- さらに、アンテナの高さを約2mの範囲で変えることにより、受信状態がより良くなる場合があります。

受信確認にケーブルが必要な場合、p.9「ケーブルにF型コネクタを取付ける」、「アンテナにケーブルを接続する」を行なってください。



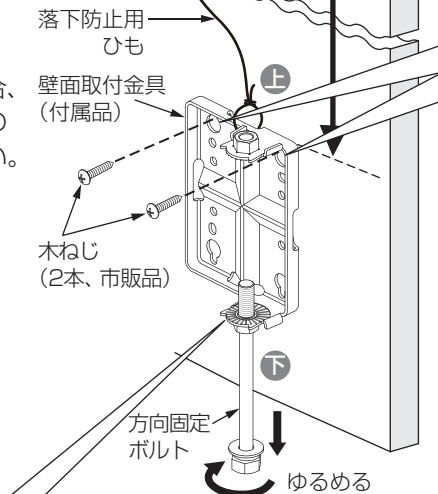
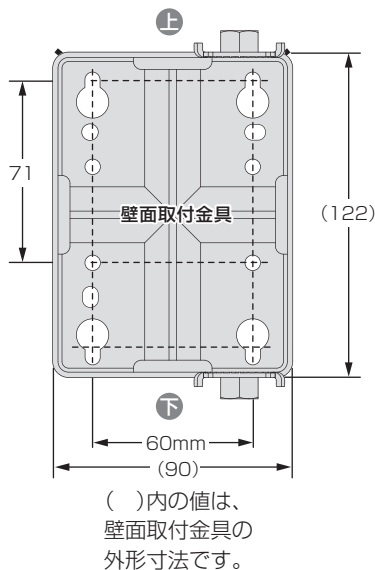
アンテナを壁面に設置する つづき

2. 壁面取付金具の仮固定

- ①壁面取付金具の向きを確認(p.4「アンテナを壁面やペランダ水平のマストに設置する前に」参照)してください。
- ②方向固定ボルトを付属のレンチでゆるめ、下部に移動させてください。
- ③市販の直径4.1～5.1mmの木ねじ(または呼び径4～5mmのタッピングビス)2本で壁面と垂直に仮固定します。
下部のねじ部から方向固定ボルトを外さなくてもアンテナ本体を取付けることができます。

コンクリートアンカー取付寸法

コンクリート製の壁面に取付ける場合、市販のコンクリートアンカーを下図の矢印の位置(4か所)に取付けてください。



注意

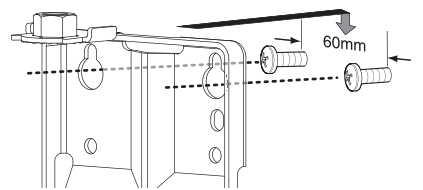
この部分より、方向固定ボルトをゆるめすぎないようにしてください。落下して、けがの原因となることがあります。

ご注意

- 壁面取付金具は、垂直に取付けてください。垂直にしないとアンテナが傾き、最良の受信感度が得られません。
- 壁面取付金具は、軒より30cm以上離して取付けてください。30cm以上離さない、アンテナ本体が取付けられません。

設置のポイント

- 木ねじを先に2本取付け、壁面取付金具の○孔をひっかけて仮固定すると取付けやすくなります。
- 木ねじは、壁面取付金具の○孔に合わせて、正しい間隔で取付けられます。



使用する木ねじについて

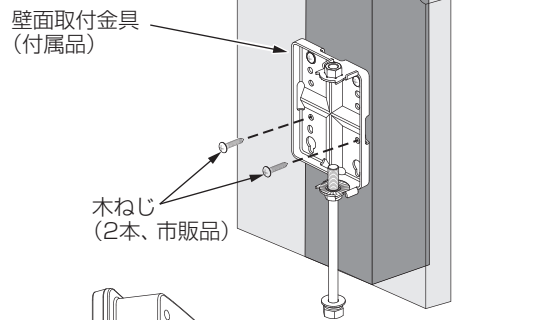
木ねじは、市販の直径4.1～5.1mm(または呼び径4～5mmのタッピングビス)で、取付強度が充分確保できる長さのものをお使いください。

3. 壁面取付金具の取付け

- ①市販の直径4.1～5.1mmの木ねじ(または呼び径4～5mmのタッピングビス)2本で壁面にしっかりと固定します。
- ②「2. 壁面取付金具の仮固定」の③で仮固定した木ねじ(2本)をしっかりと固定します。

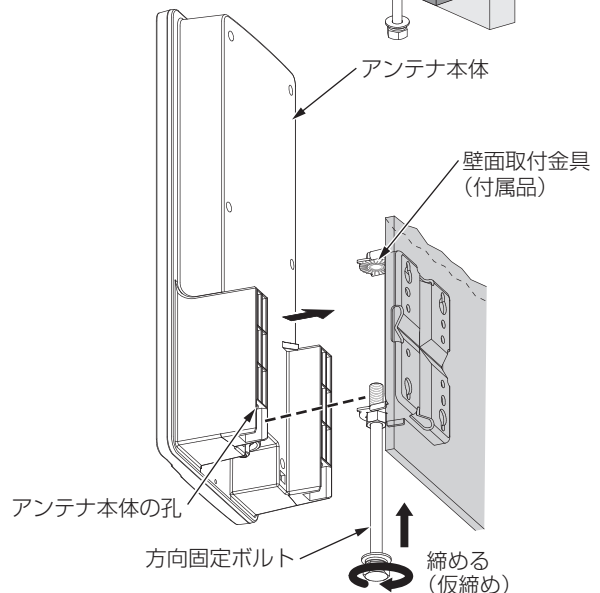
ご注意

- 木ねじ・ボルトは必ず強度が充分確保できる柱などに取付けてください。
- サイディングやモルタルなど割れやすい壁には、ねじ径にあったドリルで下穴を開けて、適切な防水処理を行なってください。漏水や壁面の破損の原因となることがあります。
- 金具取付時は金具が鉛直になるように調整して取付けてください。



4. アンテナ本体の取付け

- ①アンテナ本体を壁面取付金具にはめて、方向固定ボルトをアンテナ本体の孔に通し、付属のレンチで、アンテナが回転できる程度に仮締めします。
- ②アンテナ本体の取付けが完了したら、p.9「ケーブルにF型コネクタを取付ける」、「アンテナにケーブルを接続する」を行なってください。
- ③p.10「アンテナの方向を調整する」が終わったら、方向固定ボルトを指定のトルク[10N・m(103kgf・cm)]で締め付けてください。



アンテナをベランダ・垂直のマストに設置する

ベランダ・マスト設置に必要なもの

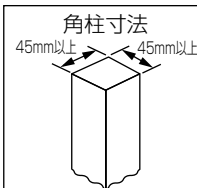
取付けには、付属のレンチが必要です。

⚠ 注意

- アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具・工具などをひもで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。
- アンテナの取付作業は、安全確保のため、必ず2人以上で行なってください。
- ボルト、蝶ナットの締付部分は、初期ゆるみがありますから、数か月後、再度、締直してください。

45×45mmを超える角柱に取付ける場合、別売のサイドベースSBM35をご使用ください。

(p.7「アンテナ取付金具(別売)設置例」をご覧ください。)



⚠ 注意

- アンテナを上下逆に取付けると、内部に雨水がたまり、故障の原因となります。アンテナの上下を確認して、正しく取付けてください。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。方向固定ボルトやマスト固定金具の変形や破損の原因となります。

1. 壁面取付金具をアンテナ本体に取付ける

壁面取付金具の向きを確認(p.4「アンテナを壁面やベランダ・水平のマストに設置する前に」参照)してください。

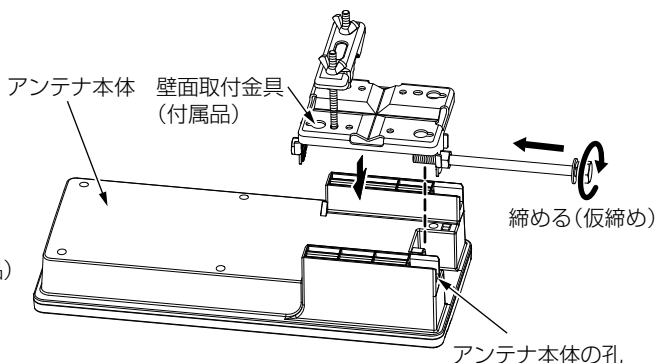
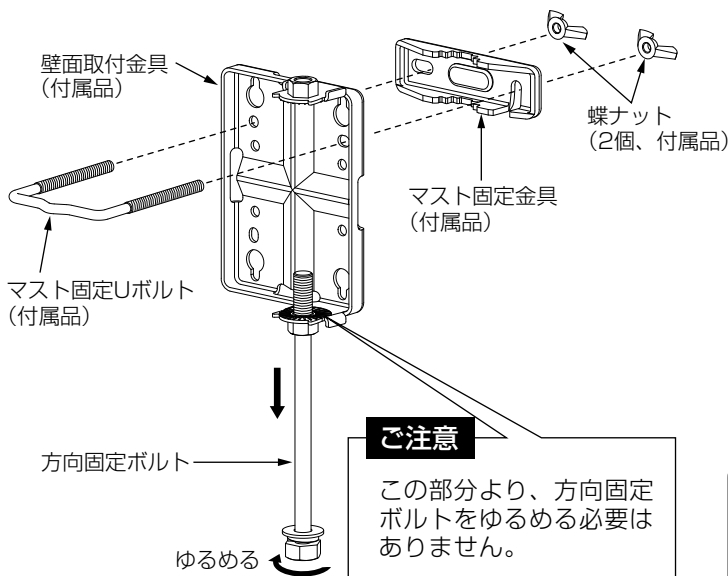
① 壁面取付金具の方向固定ボルトをゆるめる

壁面取付金具の方向固定ボルトを付属のレンチでゆるめて、下部に移動させます。

付属のマスト固定Uボルトを差し込んで、マスト固定金具、蝶ナット(2個)を取付けます。

② 壁面取付金具をアンテナ本体に取付ける

アンテナ本体に壁面取付金具をはめて、方向固定ボルトをアンテナ本体の孔に通し、付属のレンチで締付けます。(仮締めでかまいません)



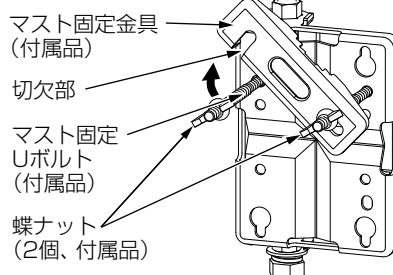
⚠ 注意

アンテナ本体を地面などに置くときは、アンテナの前面に傷が付かないように、シートなどを敷いてください。

マスト固定金具の取外し

マスト固定金具の切欠部をマスト固定Uボルトから外します。

(角柱・マストに取付後、再度切欠部をマスト固定Uボルトの頭にはめます。)



アンテナをベランダ・垂直のマストに設置する つづき

2. ベランダ・垂直のマストに取付ける

地上デジタル放送は、直進性が強く、障害物によるレベル減衰が大きくなり受信できなくなるため、送信塔方向の見通しが良い場所を選んで設置してください。

ベランダに設置 適合角柱寸法
25×25～45×45mm

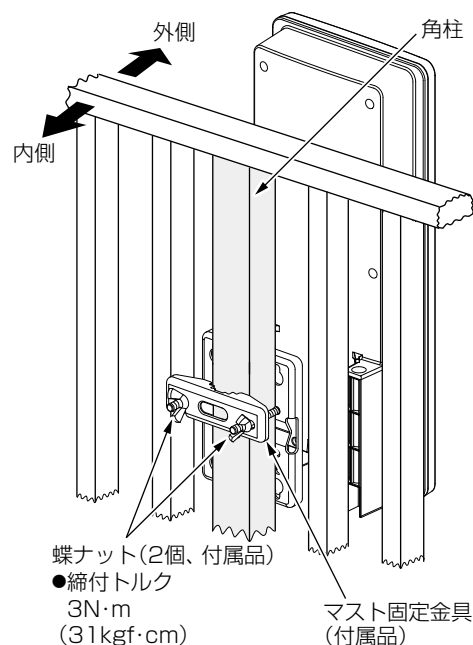
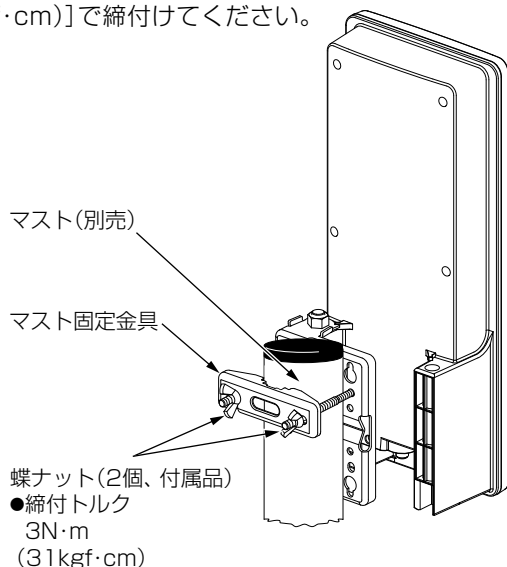
- ①ベランダの角柱を通してマスト固定金具の切欠部をマスト固定Uボルトにしっかりとはめ合わせ、付属のレンチで蝶ナット(2個)を均等に締付け、垂直になるように設置します。
- ②アンテナの設置が完了したら、p.9「ケーブルにF型コネクタを取付ける」、「アンテナにケーブルを接続する」を行なってください。
- ③p.10「アンテナの方向を調整する」が終わったら、方向固定ボルトを指定のトルク[10N・m(103kgf・cm)]で締付けてください。

ご注意

- 設置する前に、ベランダのフェンスの強度を確認してください。
- アンテナは太い角柱部分に取付けてください。
- 45×45～80×80mmの角柱にサイドベースを使用して設置する場合、**SBM35**(別売)をご使用ください。
- コンクリートフェンス(厚さ100～200mmにコンクリートフェンスベースを使用して設置する場合、**KBM45N**(別売)をご使用ください。
- 蝶ナットは均等に締付けてください。

垂直のマストに設置 適合マスト径
φ22～49mm

- ①マストを通して、マスト固定金具の切欠部をマスト固定Uボルトにしっかりとはめ合わせ、付属のレンチで蝶ナット(2個)を均等に締付け、垂直になるように設置します。
- ②アンテナの設置が完了したら、p.9「ケーブルにF型コネクタを取付ける」、「アンテナにケーブルを接続する」を行なってください。
- ③p.9「アンテナにケーブルを接続する」が終わったら、方向固定ボルトを指定のトルク[10N・m(103kgf・cm)]で締付けてください。
- ④p.10「アンテナの方向を調整する」が終わったら、蝶ナットを指定のトルク[3N・m(31kgf・cm)]で締付けてください。

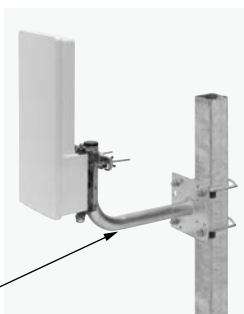


ご注意

- マストは垂直になるように建ててください。
- マストは強風でも倒れないように、しっかりと建ててください。
- 蝶ナットは均等に締付けてください。

アンテナ取付金具(別売)設置例

45×45～80×80mmの角柱にサイドベースを使用して設置する場合



サイドベース**SBM35**(別売)

コンクリートフェンス(厚さ100～200mm)にコンクリートフェンスベースを使用して設置する場合



コンクリートフェンスベース
KBM45N(別売)

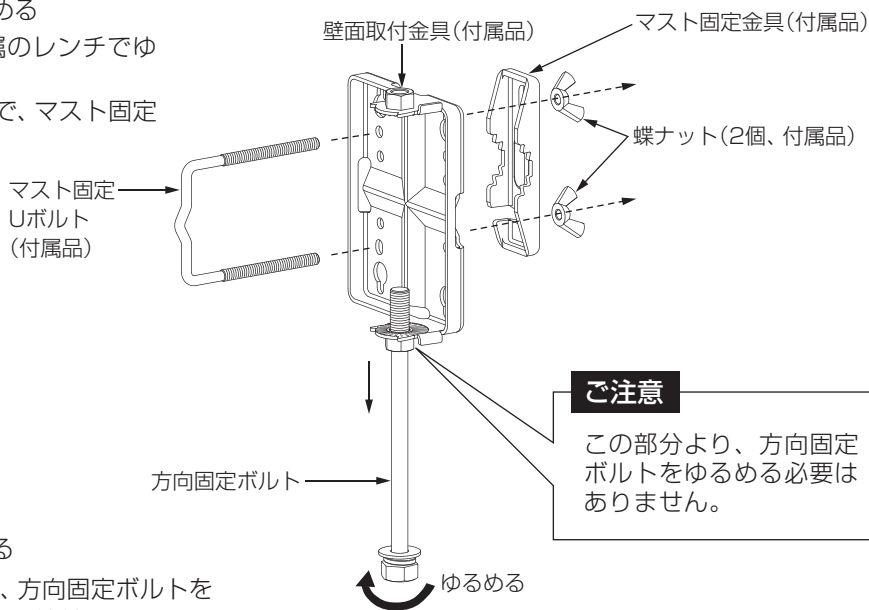
アンテナを水平のマストに設置する

1. 壁面取付金具をアンテナ本体に取付ける

壁面取付金具の向きを確認(p.4「アンテナを壁面やベランダ・水平のマストに設置する前に」参照)してください。

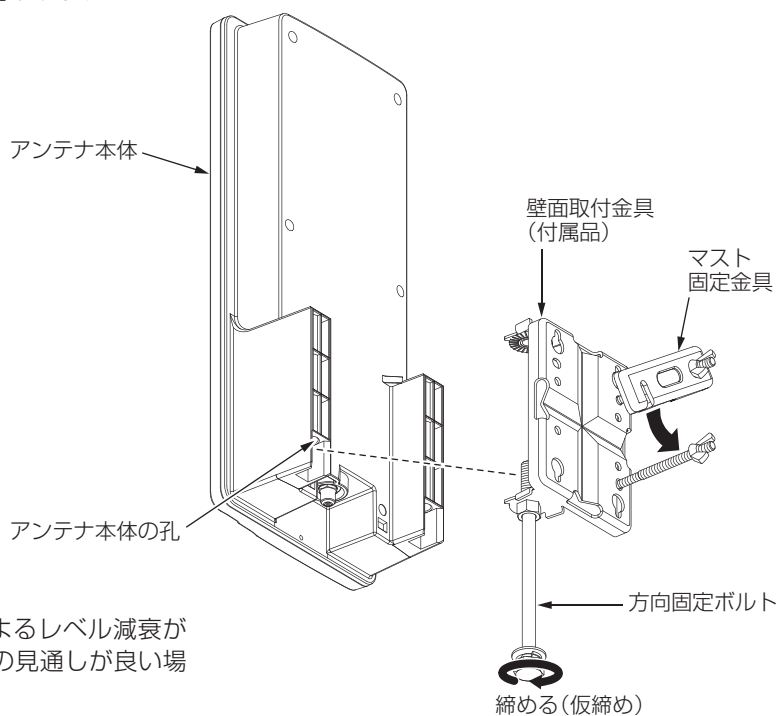
① 壁面取付金具の方向固定ボルトをゆるめる

壁面取付金具の方向固定ボルトを付属のレンチでゆるめて、下部に移動させます。
付属のマスト固定Uボルトを差し込んで、マスト固定金具、蝶ナット(2個)を取付けます。



② 壁面取付金具をアンテナ本体に取付ける

アンテナ本体に壁面取付金具をはめて、方向固定ボルトをアンテナ本体の孔に通し、付属のレンチで締付けます。
(仮締めでかまいません)



2. 水平のマストに取付ける

地上デジタル放送は、直進性が強く、障害物によるレベル減衰が大きくなり受信できなくなるため、送信塔方向の見通しが良い場所を選んで設置してください。

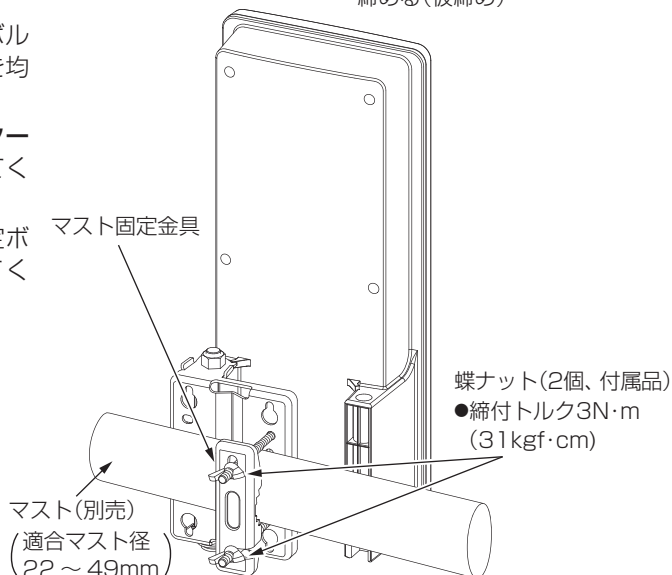
① マストに通して、マスト固定金具の切欠部をマスト固定Uボルトにしっかりと合わせ、付属のレンチで蝶ナット(2個)を均等に締付け、アンテナが傾かないように設置します。

② アンテナの設置が完了したら、p.9「ケーブルにF型コネクタを取付ける」、「アンテナにケーブルを接続する」を行なってください。

③ p.10「アンテナの方向を調整する」が終わったら、方向固定ボルトを指定のトルク[10N・m(103kgf・cm)]で締付けてください。

ご注意

- アンテナを上下逆に取付けると、内部に雨水がたまり、故障の原因となります。アンテナの上下を確認して、正しく取付けてください。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。方向固定ボルトやマスト固定金具の変形や破損の原因となります。

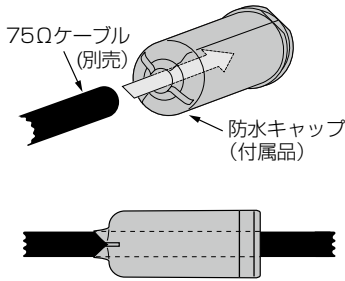


ケーブルにF型コネクタを取付ける

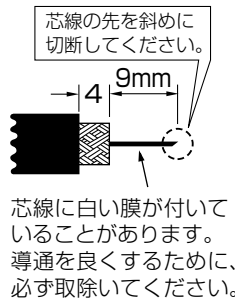
F型コネクタは、確実に取付けないと、受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

- 接触不良やショートを防ぐため、プラグはていねいに取付けてください。
- 75Ωケーブルは5Cケーブルまたは4Cケーブルをお使いください。
- 付属のF型コネクタは5Cケーブル用です。4Cケーブルの場合、別売の4Cケーブル用F型コネクタをお使いください。

1 75Ωケーブルを付属の防水キャップに通します。

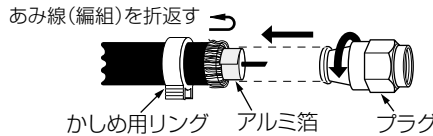


2 ケーブルを加工します。(加工寸法は原寸大です)



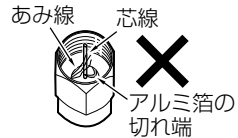
3 プラグを取付けます。

1. かしめ用リングにケーブルを通してください。
2. あみ線(編組)を折返してください。
3. プラグの内側にアルミ箔が入るように、アルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら、ていねいに押し込んでください。



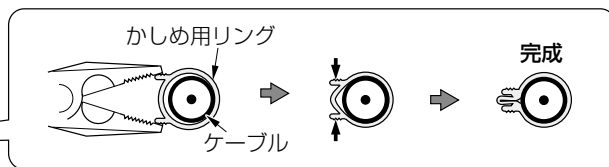
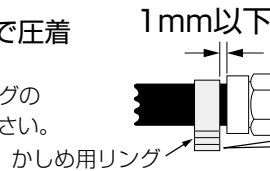
あみ線・アルミ箔のショートに注意

あみ線(編組)やアルミ箔の切れ端は、取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり、テレビを見られなくなります。

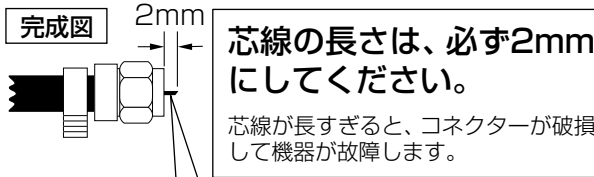


4 かしめ用リングをペンチで圧着します。

プラグが抜けないように、プラグの根元でしっかりと圧着してください。



完成図



芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

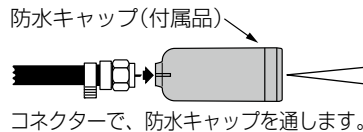
芯線が長すぎると、コネクタが破損して機器が故障します。

芯線は、まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。



コネクタ取付け後でも防水キャップにケーブルを通せません



コネクタで、防水キャップを通します。

注意

防水キャップを通したときに、コネクタの芯線が目や指にささらないように注意してください。

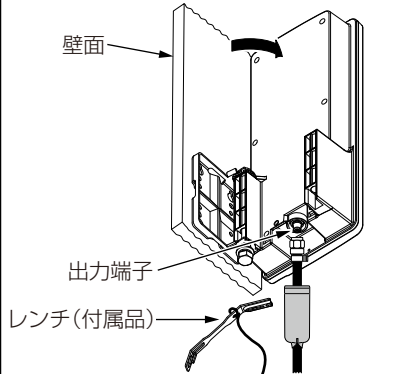
アンテナにケーブルを接続する

- ①F型コネクタを、アンテナの出力端子へ接続し、付属のレンチで締付け、付属の防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込んでください。
- ②ケーブルの接続が完了したら、p.10「アンテナの方向を調整する」を行なってください。

ケーブルは、コネクタや防水キャップに無理な力が加からないように配線してください。

ケーブル接続のポイント

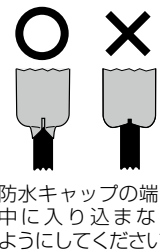
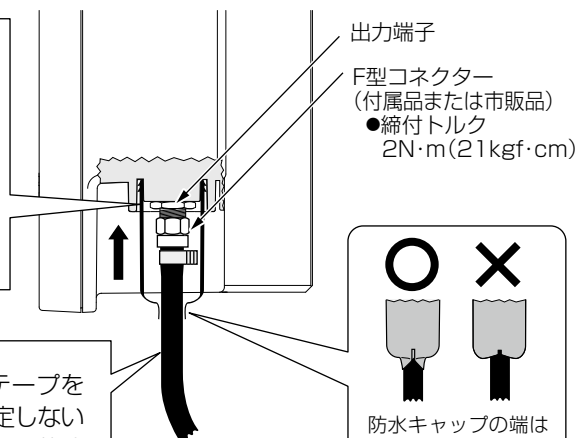
アンテナを横に向けてケーブルを接続してください。
p.10「アンテナの方向を調整する」をご覧ください。



- 付属の防水キャップは、矢印の方向へ確実に押し込んでください。
- 防水キャップが油がっていると、雨水がケーブル内に浸入してショート状態になり、受信不良になります。

ご注意

防水キャップにビニルテープを巻付けて、ケーブルに固定しないでください。雨水がたまり、故障の原因となります。



防水キャップの端は中に入り込まないようにしてください。

アンテナの方向を調整する

アンテナの方向調整に必要なもの

方向調整には付属のレンチが必要です。

1. アンテナの方向を変える(壁面またはベランダ、水平のマストに設置する場合)

方向の変え方

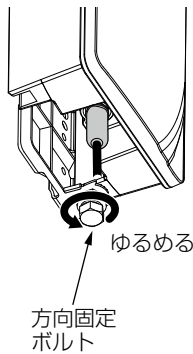
左方向へ向けるときの例(アンテナを上から見た図)

垂直のマスト(円柱)やサイドベースに取付けたときは、蝶ナットをゆるめて方向を変えてください。(p.11「4.アンテナを固定する」参照)

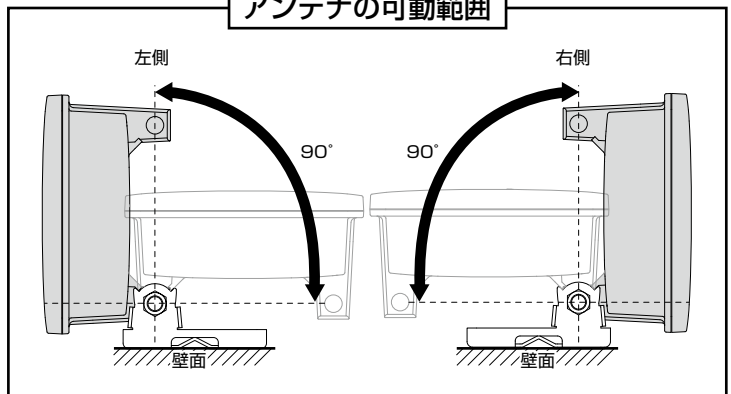
①方向固定ボルトをゆるめる

注意

方向固定ボルトをゆるめすぎないようにしてください。落下して、けがの原因となることがあります。



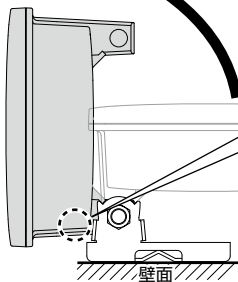
アンテナの可動範囲



②アンテナを回転させる

アンテナ本体を左方向へ回転させます。

左方向へ回転



注意

アンテナを左いっぱい回転させたとき、アンテナと壁面取付金具で手をはさまないように注意してください。けがの原因となることがあります。

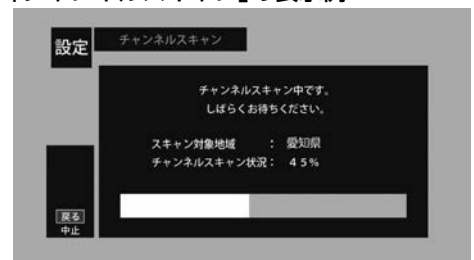
2. 受信チャンネルの設定をする

- ①初めて地上デジタル放送を受信する場合、アンテナを送信塔の方向におおよそ向けてから、テレビまたは地上デジタルチューナーの「チャンネルスキャン(サーチ)」を行なって、受信チャンネルを設定します。
- ②チャンネルスキャン後、表示されないチャンネルがある場合、アンテナ方向調整をしながら、再度チャンネルスキャンをしてください。

ご注意

画面の表示は一例で、使用するテレビまたは地上デジタルチューナーにより異なります。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

「チャンネルスキャン」の表示例



(当社 地上・BS・110°CSデジタルチューナーの例)

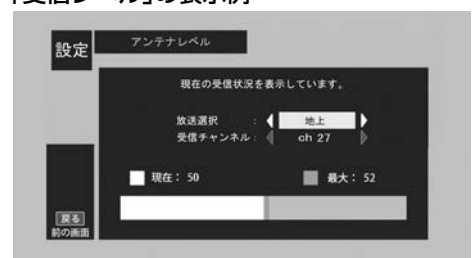
3. 方向調整をする

テレビまたは地上デジタルチューナーの「受信レベル(アンテナレベル)」の値が最大になるように、アンテナを左右に移動・回転させてアンテナの向きを調整してください。(全チャンネルが映ることを確認してください)

ご注意

- 画面の表示は一例で、使用するテレビまたは地上デジタルチューナーにより異なります。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。
- 正確な方向調整のために、別売のレベルチェッカーを使用されることをおすすめします。

「受信レベル」の表示例



(当社 地上・BS・110°CSデジタルチューナーの例)

アンテナの方向を調整する つづき

4. アンテナを固定する

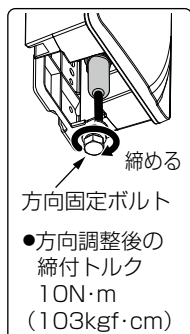
壁面・ベランダ・水平のマスト設置

調整後、付属のレンチで方向固定ボルトを締付けてください。



送信塔の方向

(アンテナの方向を調整する)



締める

方向固定ボルト

●方向調整後の締付トルク
10N・m
(103kgf・cm)

レンチ(付属品)



壁面

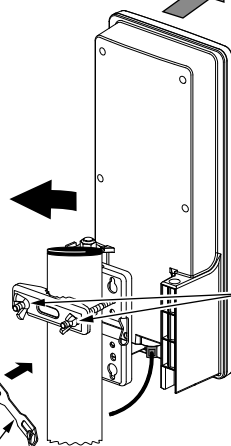
垂直のマスト設置

調整後、付属のレンチで蝶ナット(2個)を均等に締付けてください。



送信塔の方向

(アンテナの方向を調整する)



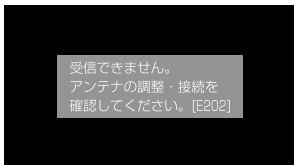

蝶ナット
(2個、付属品)
●方向調整後の締付トルク
3N・m
(31kgf・cm)

レンチ(付属品)

ご注意

- 電波の弱い場所では受信できません。
- 障害物があり、見通しの悪い場所では受信できないことがあります。
- 送信電力の低い特定のチャンネルだけが映らないこともありますから、全てのチャンネルがきれいに映るように方向を調整してください。
- 受信レベル(アンテナレベル)は、アンテナの高さでも変わります。高い場所に設置すると、受信レベルが高くなる場合があります。
- 設置後に建物などの環境変化により受信できなくなることがあります。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。方向固定ボルトやマスト固定金具の変形や破損の原因となります。

テレビがきれいに見られないときは

症状	原因	処置
画像が出ない  メッセージは、一例です。	コネクターの取付け・ケーブルの接続方法が間違っている。	<ul style="list-style-type: none"> ●コネクターが正しくケーブルに取付けられているか確認してください。(p.9「ケーブルにF型コネクターを取付ける」をご覧ください) ●ケーブルが、出力端子に正しく接続されているか確認してください。(p.9「アンテナにケーブルを接続する」をご覧ください)
	信号が来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> ●各ケーブルが、断線またはショートしていないか確認してください。(p.9「ケーブルにF型コネクターを取付ける」をご覧ください) ●F型コネクターの芯線が短かったり、芯線にあみ線(編組)やアルミ箔が触れていないか確認してください。(p.9「ケーブルにF型コネクターを取付ける」をご覧ください)
	受信ができていない。	再度方向調整をしてください。(p.10「アンテナの方向を調整する」をご覧ください)
画像にモザイク状のノイズが出ている 	受信レベルが低い。	<ul style="list-style-type: none"> ●症状が消えるように、アンテナの方向を調整してください。(p.10「アンテナの方向を調整する」をご覧ください) ●アンテナの設置場所や高さを変えて、送信塔からの電波が受信できるようにしてください。
		<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナとテレビを短いケーブルで接続すると地上デジタル放送が見られるが、ケーブルを長くするとモザイク状のノイズが出る場合、別売のUHFラインブスター UB18L-Pを U2SWLC3の出力端子に接続してください。

規格表・性能・保証書

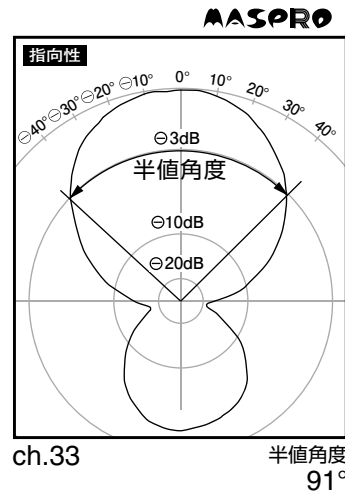
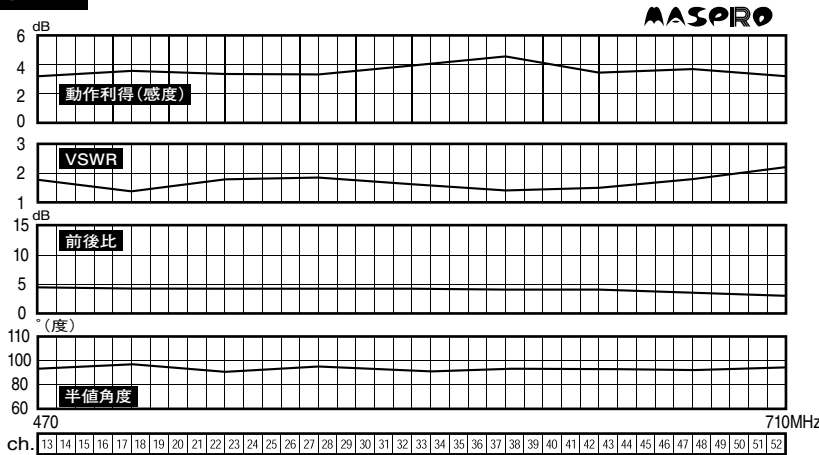
規格表 Specifications

MASPRO

項目 Items	規格
受信チャンネル Reception Channels	ch.13 ~ 52
動作利得(感度) Antenna Gain	3.2 ~ 4.3dB(実力値)
VSWR Voltage Standing Wave Ratio	2.5以下
前後比 Front to Back Ratio	3dB以上
半値角度 Half Power Beam Width	85~100°
インピーダンス Impedance	75Ω(F型端子)
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20 ~ ⊕50°C
適合マスト径 Adaptable Mast Diameter	マスト:φ22 ~ 49mm 角柱 :25×25 ~ 45×45mm
外観寸法 Dimensions	379(H)×151(W)×99(D)mm(壁面取付時) 379(H)×151(W)×176(D)mm(φ49mmマスト取付時) 382(H)×150(W)×142(D)mm(スタンド取付時) [アンテナ部:360(H)×150(W)×55*(D)mm]
質量(重量) Weight	約1kg(壁面取付時) 約1.2kg(マスト取付時) 約0.8kg(スタンド取付時)

*壁面取付金具固定部を除く。

性能



MASPRO of PRODUCTION
生産の順番

UHFアンテナ保証書

MODEL U2SWLC3

持込修理

お客様ご住所	
TEL.	
★お客様お名前	様
★保証期間(販売店記入欄)	
お買上げ日	年 月 日から 1年間
★販売店名・住所(販売店記入欄)	
TEL.	

★印の欄にご記入のない場合には保証サービスの提供ができません。本書は再発行いたしません、紛失しないよう大切に保管してください。

＝マスプロ電気株式会社＝

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80

技術相談 0570-091119

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは 052-805-3366
受付時間 9~12時、13~17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

保証規定

- 店舗購入の場合、故障した本製品(以下「修理品」)、付属品、ご購入日を証明できる書類(領収書など)、および本保証書を、購入した店舗にお持ちください。
通信販売での購入の場合、修理品、付属品、ご購入日が確認できる書類、本保証書、および修理サービス申込書(弊社ウェブサイトからダウンロード)を、弊社修理係に直接ご送付ください。
- お申込み後、弊社の選択により無償修理または無償で新品代替交換(以下「無償修理など」)いたします。
なお、次の場合、無償修理などの対象となりません。
・必要な各書類の提示がない、または書類の字句が書換えられた場合
・他の機器などにより誘発された故障および損傷
・特殊な環境下(例えば車内・船舶への搭載など)で使用されたときの故障および損傷
・設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷
・消耗部品の交換
・日本国外で購入もしくは使用された機器の故障および損傷
・その他、上記に準じた理由により無償修理などが適切ではないと弊社が判断した場合
- 店舗への持込費用、または弊社修理係へご送付いただく場合の送料はお客様の自己負担となります。
- 適切な梱包のうえ、受渡しの確認ができる手段(宅配など)でご送付ください。弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 無償修理などを行なった場合、本製品は原則として工場出荷状態でご返却いたします。
- お客様が弊社の保証サービスに関連して弊社の責に帰すべき事由により損害を被った場合、お客様は現実に発生した直接かつ通常の損害に限り弊社に請求できるものとします。弊社が負担する損害賠償の総額は、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 修理品に貼付けられたシール、装飾品、塗装、および刻印などについて弊社は責任を負いません。
- 製品の故障によって発生した設置工事費、人件費など、および故障により製品を使用できないことによる逸失利益、代替品の費用などの損害については、弊社は一切の費用負担をいたしません。
- 交換の場合、交換された製品、部品の所有権は弊社に譲渡されます。
- 交換または修理完了後の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日、または製品引き渡し後6か月の満了日のいずれかの長い方となります。
- お客様宛に送付した本製品が宛先不明などの理由により弊社に返送され、弊社の通知後1か月経過しても回答がない場合、お客様が本製品の所有権を弊社へ移転することに同意したものとみなします。
- 弊社が無償修理などの手段として代替品との交換を選択した場合に、修理品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただきます。
- 譲渡品、中古品、転売品(オープン購入などを含む)については、この規定に記載される保証の適用範囲外とします。
- 本製品の修理期間中、代替機器の提供は行いません。
- 本製品の出張修理は行いません。
- 本保証サービスは、日本国外からは利用できません。

本保証書は、当社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

- 製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。
- この製品を廃棄する場合、排出する自治体のルールに従ってください。

2K57-846

JY(TX)-46-6846-2T

